



# 相津地区の景観まちづくり

※藍の縞模様は、伝統工芸品の「松阪木綿」柄です

## 松阪市景観計画を進めています！

松阪市では美しく豊かな景観を、かけがえのない市民共通の資産として、誇りと愛着の持てる郷土づくりを実現するため、松阪市景観計画を進めています。

その中で、良好な景観の形成が特に必要な地区を重点地区として指定し、市民の皆様にもっともっと松阪市の景観を好きになってほしいとの想いで、まちなみの保全に取り組んでいます。

一方、現在運用している松阪市景観計画は、策定から10年以上が経過し、社会情勢の変化による課題も生じていることから、時代に即した改定作業を進めているところです。

新しい松阪市景観計画では、市を代表する山村集落の貴重な景観を有する地区として「飯南町向粥見 相津地区」を重点地区（候補）として位置づけ、黒を基調とした特徴的な建物や屋敷地をもつ景観を、将来に渡り保全していきたいと考えています。

新しい松阪市景観計画は、令和5年4月から運用を予定しています。



黒を基調とした特徴的な屋敷地



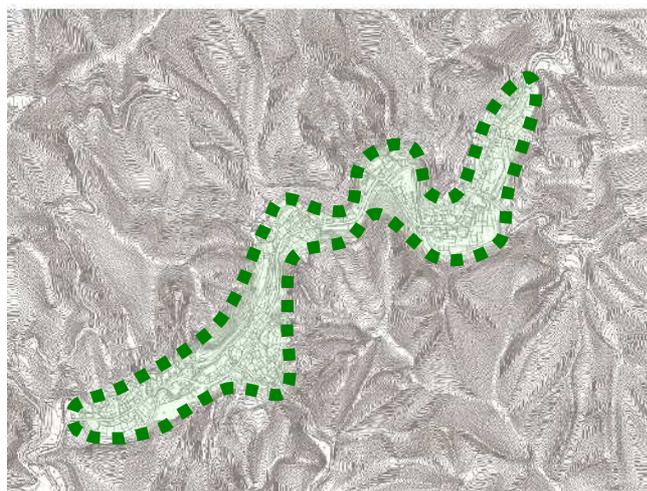
### 改定松阪市景観計画 記載内容（抜粋）

#### 【飯南町向粥見 相津地区】良好な景観の形成に関する方針

本地区は、本市相津と大台町三瀬谷をつなぐ、相津峠の北側に位置し、相津川沿いの山間部に形成された山村集落です。

黒を基調とした下見板張りの主屋や離れ、土蔵、塀などで構成された大きな屋敷地が特徴で、わずかな平地を活かした農地、相津川の氾濫対策と想定される野面積みの外構などが連なる景観がみられ、山村集落における歴史的景観を特徴づけています。

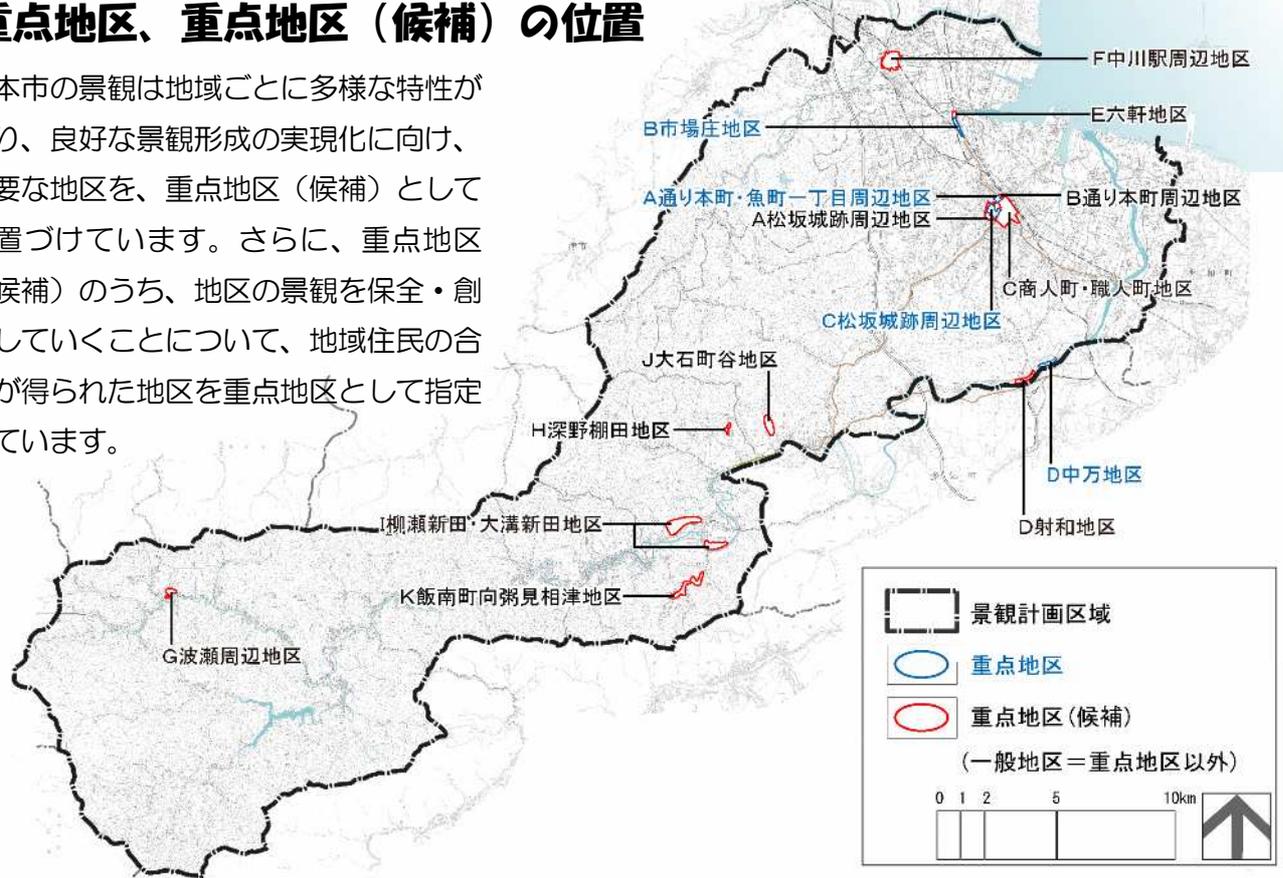
このため、中山間地の山村集落として培われてきた居住環境の継承と、持続的な地域コミュニティを確立します。



重点地区（候補）のエリアと相津の山村集落

## 重点地区、重点地区（候補）の位置

本市の景観は地域ごとに多様な特性があり、良好な景観形成の実現化に向け、重要な地区を、重点地区（候補）として位置づけています。さらに、重点地区（候補）のうち、地区の景観を保全・創出していくことについて、地域住民の合意が得られた地区を重点地区として指定しています。



## 松阪市では「景観交流会」を開催しています！

松阪市では、重点地区と重点地区候補地区で景観まちづくりに取り組む方を中心として、自分達のまちの景観をどのように次の世代へ継承していくか、他地区のまちなみを見学することや情報交換、意見交換を通じて、自分たちの活動方法のヒントになるようなことを得る機会や、景観まちづくり活動の輪が広がることで、連携しあえる仲間を増やして頂くことを目的として開催しています。

### 令和4年度は松坂城下町で開催！

令和4年度は、松坂城下町の殿町、本町、魚町において松阪ガイドボランティア友の会さんのご案内で、重点地区や候補地区の地域住民など24名の参加で、次のコースをまちなみ散策しました

今後、相津地区においてもこのような機会を設けて、自分達の地域の景観をどのように次の世代へ継承していくかなど、景観まちづくりについて協議を進めながら、景観交流の場を広げていきたいと考えています。皆様からのご参加をお待ちしています。

